

大綱 2

多くの人が集い，産業が集積する 「活力あるみと」

2-1 地域経済をけん引する活力づくり

- 2-1-1 誰もが生き生きと働ける環境づくり
- 2-1-2 地元企業が成長するまちづくり
- 2-1-3 安心な食を支える農業の振興

2-2 水戸らしさを生かしたにぎわいの創出

- 2-2-1 まちなかの活性化
- 2-2-2 多くの人が訪れたくなるまちづくり
- 2-2-3 水戸のまちを楽しめる交流拠点づくり

2-3 都市の活力とにぎわいを支える基盤の強化

- 2-3-1 水戸らしいコンパクトな都市構造の構築
- 2-3-2 公共交通・自転車に乗りたくなるまちづくり

2-1 地域経済をけん引する活力づくり

2-1-1 誰もが生き生きと働ける環境づくり

市民、事業者、みんなで実現するまちの姿

若い世代をはじめ誰もが活躍できるまち

【取り組むべき課題】

市内の事業所においては、人口減少や高齢化の進行を背景とした市場の縮小や事業承継する後継者の不足に加え、新型コロナウイルス感染症等による社会経済状況の変化の影響を要因として、2009（平成21）年度から2021（令和3）年度までに約1,800所以上減少しています（表2-1）。また、この12年間で、市内の従業者数は7,000人以上減少しています（表2-2）。

事業所や従業者の減少は、地域経済の低迷を招くばかりでなく、希望する働く場がないことにより市外への転出者が増加するなどの悪循環につながる懸念されます。

そのため、若い世代が働きたいと感じる魅力ある多様な働く場を創出していくとともに、一人一人の価値観やライフスタイルが大切にされ、誰もが活躍できる環境づくりを推進していく必要があります。

〔表2-1〕事業所数の推移

（単位：所）

区分	2009年度 (H21年度)	2012年度 (H24年度)	2014年度 (H26年度)	2016年度 (H28年度)	2021年度 (R3年度)
事業所数	14,282	13,215	13,485	13,136	12,442

注1 公務、事業内容不詳を除く

（出典：経済センサス、総務省統計局）

〔表2-2〕従業者数の推移

（単位：人）

区分	2009年度 (H21年度)	2012年度 (H24年度)	2014年度 (H26年度)	2016年度 (H28年度)	2021年度 (R3年度)
従業者数	151,248	140,882	140,188	145,374	144,093

注1 公務を除く

（出典：経済センサス、総務省統計局）



【目標水準】

指標	現況 (令和4年度末)	前期目標 (令和10年度末)	期間目標 (令和15年度末)
創業比率(既存企業に対する新規企業の割合)	8.1% (令和元~3年度)	9%	10%
事業所数	12,442 所 (令和3年度)	13,100 所	13,400 所
事業所の従業者数	144,093 人 (令和3年度)	145,100 人	145,800 人
移住相談件数(年間)	71 件	130 件	180 件

【主要事業（5か年）】

1 若い世代が魅力を感じられる働く場の創出，情報発信を進めます

事業概要

◇切れ目のない創業・スタートアップ支援 — 《事業主体》市，関係機関，事業者

- ・若い世代の創業機運の醸成
- ・創業支援塾の充実
- ・創業に関する総合情報の効果的な発信
- ・創業後のフォローアップ
- ・ワグテイルの創業支援拠点としての機能強化

事業概要

◇企業が立地しやすい環境づくり — 《事業主体》市

- ・企業誘致コーディネーターによるきめ細かな支援，誘致体制の強化
- ・立地に係る優遇制度の拡充
- ・企業の地方移転，サテライトオフィス立地の促進
- ・新たな誘致先用地の確保

事業概要

◇魅力ある働く場のPR — 《事業主体》市，事業者

- ・企業ガイド，就職面接会等による魅力的な企業の情報発信
- ・インターンシップ受入体制整備の支援
- ・採用力向上セミナーの実施

事業概要

◇若い世代の移住促進 3-4-5 — 《事業主体》市，構成市町村，関係機関 等

- ・移住特設サイト，移住フェアを活用したPR
- ・合同企業説明会の開催
- ・東京圏からの移住者に対する支援金の交付
- ・地域おこし協力隊の活用

◇若い世代のみとリターンの促進強化

≪事業主体≫市

事業概要

- ・若い世代に特化したプラットフォームの構築
- ・高校生, 大学生等との連携による情報発信

2 ライフスタイルに合わせた働きやすい環境づくりを進めます

◇誰もが働きやすい環境づくり

≪事業主体≫市, 事業者, 関係機関

事業概要

- ・ワーク・ライフ・バランスの推進
- ・テレワーク導入の支援
- ・シニア世代, 障害者等の就労支援
- ・市勤労者福祉サービスセンターによる福利厚生事業の充実

◇子育て世帯が安心して働ける環境づくり

≪事業主体≫市, 事業者

1-1-3

事業概要

- ・セミナー等の開催による育児休業取得の推進
- ・くるみん認定の取得促進

◇性別にかかわらず活躍できる就業環境づくり

≪事業主体≫市, 事業者, 関係団体 等

4-1-3

事業概要

- ・性別にかかわらずワーク・ライフ・バランスを大切にできる環境づくり
- ・女性の就業支援, キャリアアップ講座の実施
- ・市民, 事業者に向けたセミナー等の開催

◇仕事と介護を両立できる環境づくり

≪事業主体≫市, 事業者

3-2-2 3-2-4

事業概要

- ・介護サービス等の利用促進
- ・介護者に対する情報発信
- ・事業者に対する介護離職防止に向けた取組の普及・啓発

【関連個別計画】

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略



2-1 地域経済をけん引する活力づくり

2-1-2 地元企業が成長するまちづくり

市民，事業者，みんなで実現するまちの姿

地域経済の中核を担う地元企業が成長するまち

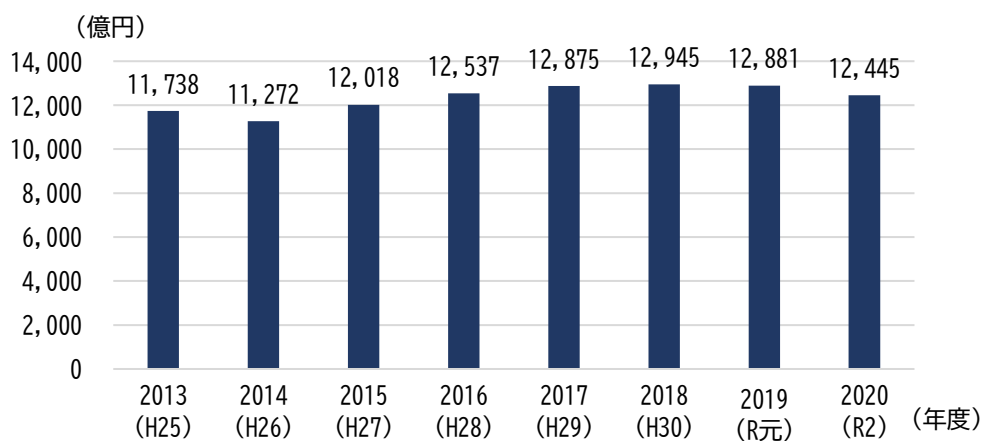
【取り組むべき課題】

本市の市内総生産（実質）は増加傾向にあり、2018（平成30）年度には1兆2,945億円に達しましたが、新型コロナウイルス感染症等の影響によって、2020（令和2）年度は1兆2,445億円に減少しました（図2-1）。また、市内小売業の商品販売額、市内製造品出荷額ともに、2020（令和2）年には減少に転じました（表2-3）。

落ち込んだ地域経済を回復していくためには、市内企業の大多数を占める中小企業の振興を図っていくことが重要です。中小企業を取り巻く社会情勢は大きく変化しており、人口減少を背景とした労働力人口の減少や消費行動の変化、エネルギー価格・物価高騰など、様々な困難に直面しています。

そのため、中小企業の経営基盤強化や人材の確保・育成、販路拡大とともに、DXやGX等に対応するための取組を支援しながら、中小企業の持続的な成長を支えていく必要があります。

〔図2-1〕 市内総生産（実質）の推移



（出典：市町村民経済計算，茨城県）

〔表2-3〕 市内小売業の商品販売額，市内製造品出荷額の推移

（単位：億円）

区分／年	2013 (H25)	2015 (H27)	2020 (R2)
市内小売業の商品販売額	3,673	4,028	3,790
市内製造品出荷額	1,242	1,390	1,265

（出典：経済センサス，総務省統計局）



【目標水準】

指標	現況 (令和4年度末)	前期目標 (令和10年度末)	期間目標 (令和15年度末)
実質市内総生産(年間)	1,244,490 百万円 (令和2年度)	1,420,500 百万円	1,592,200 百万円
市内小売業の商品販売額 (年間)	379,015 百万円 (令和2年)	401,800 百万円 (令和10年)	409,800 百万円 (令和15年)
市内製造品出荷額(年間)	126,471 百万円 (令和2年)	137,900 百万円 (令和10年)	142,000 百万円 (令和15年)

【主要事業（5か年）】

1 地域経済をけん引する地元企業の持続的な成長を支援します

事業概要

◇中小企業の成長支援 ≪事業主体≫市，事業者，構成市町村

- 産業活性化コーディネーターを活用した中
小企業・小規模企業の経営革新，経営基盤
強化の支援
- 人材の確保・育成の支援
- 円滑な事業承継の支援
- DX, GXを推進するための設備・機器の導入支援
- 先進的なDX等の取組を行う企業認定制度の
創設

事業概要

◇商店街活性化の支援 ≪事業主体≫市，事業者

- 商店街団体のデジタル技術を活用した販売促進事業・イベント等の支援

事業概要

◇デジタル化による地域経済好循環の推進 ≪事業主体≫市，事業者

- キャッシュレス決済，電子商店街の導入支援
- 地域経済好循環を推進するための地域通貨等の導入

事業概要

◇ものづくり産業の振興 ≪事業主体≫市，事業者，構成市町村

- 産業活性化コーディネーターを活用した販路拡大，新製品開発の支援
- 優れた工場に対する認定制度の推進

◇新たなビジネスモデルの創出

≪事業主体≫市, 事業者, 関係機関

事業概要

- ・産・学・官連携による新たなアイデアの創出
- ・ビジネスマッチング会の誘致
- ・経済社会の変化に対応した事業転換の支援

2 ものづくり, 流通を担う地域産業系拠点の機能強化を図ります

◇地域産業系拠点の機能強化・

≪事業主体≫市

集積促進

2-3-1

事業概要

- ・企業の集積の促進
- ・新たな産業用地の確保

◇公設地方卸売市場の活性化

≪事業主体≫市, 事業者

事業概要

- ・機能強化・再整備による効率的・効果的な市場運営
- ・市場協力会との連携強化による朝市や感謝市等の充実
- ・市場見学会の充実

■公設地方卸売市場の機能強化・再整備

≪事業主体≫市

事業概要

- ・場内施設・設備の長寿命化改修, 機能強化
- ・集出荷施設, 駐車場の整備
- ・脱炭素化に向けた施設整備の推進

【関連個別計画】

- ・中小企業・小規模企業振興計画



2-1 地域経済をけん引する活力づくり

2-1-3 安心な食を支える農業の振興

市民，事業者，みんなで実現するまちの姿

農業が持続的に発展し，安心で良質な農産物を安定供給できるまち

【取り組むべき課題】

本市における農業従事者は，高齢化が進行しており，基幹的農業従事者のうち65歳以上の割合は，2010（平成22）年の70.3パーセントから2020（令和2）年には79.4パーセントにまで増加しています（表2-4）。

また，この10年間で，販売農家数は3,245戸から2,099戸まで，経営耕地面積は4,661ヘクタールから3,719ヘクタールまで減少しています（図2-2）。耕作面積5ヘクタール以上の大規模経営体については，78戸から110戸へ増加していますが，まだまだその割合は低い状況にあります（表2-5）。

今後も農業従事者の高齢化と農家数の減少が続くことが見込まれる中，農業を持続的に発展させていくためには，意欲ある担い手がより大きな農地を効率的に耕作することが可能な農地の集積・集約化や生産基盤整備を進めるなど，収益性を高めていくことが重要です。

さらに，新規就農を目指す青年等の支援や認定農業者等の育成，農業経営の法人化の推進など，農業を支える多様な担い手を確保・育成していくとともに，環境に配慮した農業を推進していく必要があります。

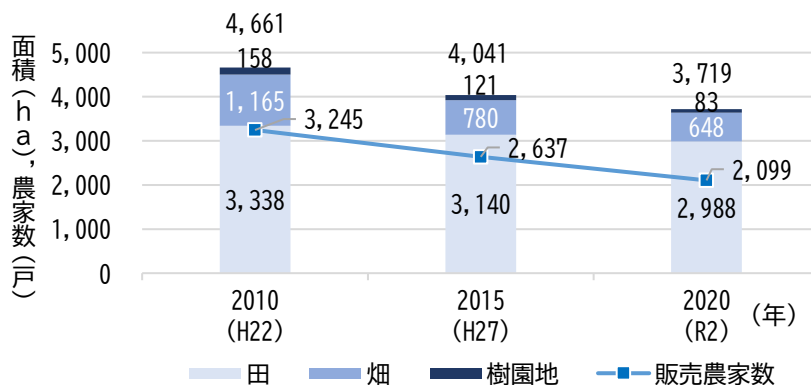
〔表2-4〕年齢別基幹的農業従事者数の推移

（単位：人，％）

区分／年	2010（H22）		2015（H27）		2020（R2）	
	従事者数	構成比	従事者数	構成比	従事者数	構成比
45歳未満	140	3.6	124	3.9	88	3.7
45～64歳	1,014	26.1	744	23.7	401	16.9
65歳以上	2,730	70.3	2,276	72.4	1,886	79.4

※基幹的農業従事者とは，仕事として主に自営農業に従事している者（出典：農林業センサス，農林水産省）

〔図2-2〕販売農家数と経営耕地面積の推移



〔表2-5〕経営耕地5ha以上の経営体数

（単位：戸）

年	経営体数
2010（H22）	78
2015（H27）	99
2020（R2）	110

（出典：農林業センサス，農林水産省）



【目標水準】

指標	現況 (令和4年度末)	前期目標 (令和10年度末)	期間目標 (令和15年度末)
青年等の新規就農者数 (年間)	10人	10人	10人
認定農業者数(累計)	293経営体	320経営体	350経営体
担い手への農地集積率	30.2%	52%	60%

【主要事業（5か年）】

1 新たな農業へのチャレンジを支援します

◇多様な担い手の確保・育成

《事業主体》市，関係機関

事業概要

- ・新規就農者，認定農業者の確保・育成
- ・農業経営継承の支援
- ・地域おこし協力隊制度の活用
- ・農業経営の法人化の推進
- ・半農半X，農業体験等の推進

◇スマート農業の推進

《事業主体》市，事業者，構成市町村

事業概要

- ・スマート農業技術の導入促進
- ・スマート農業技術を活用できる人材の育成

◇農福連携によるわら納豆の未来への継承

《事業主体》市，事業者

事業概要

- ・福藁プロジェクトの推進によるわら苞の安定供給
- ・わら納豆の販売促進

2 農業経営の安定化，所得向上への取組を支援します

◇農地集積・集約化の推進

《事業主体》市，事業者

事業概要

- ・認定農業者への農地集積による経営の効率化
- ・地域計画(人・農地プラン)に基づく取組の推進

■農業生産基盤の整備

《事業主体》市, 関係機関, 事業者

事業概要

- ・那珂川沿岸農業水利事業
- ・国営緊急農地再編整備事業
- ・県営畑地帯総合整備事業 藤井地区
- ・県営経営体育成基盤整備事業
- 柳河中部地区, 下国井地区
- ・ため池整備 3か所
- ・排水路整備

■農業用機械・施設の整備支援

《事業主体》市, 事業者

事業概要

- ・効率的な農業経営に向けた農業用機械・施設の整備支援
- ・スマート農業用機械・施設の整備支援

◇水田農業経営の安定化

《事業主体》市, 事業者

事業概要

- ・農業基盤整備による効率的な水田農業の推進
- ・麦, 大豆, 飼料用稲等の転作作物生産の促進
- ・福米粉プロジェクト等の推進による米の消費拡大

◇農産物のブランド化の推進, 販路拡大

《事業主体》市, 事業者, 構成市町村

事業概要

- ・水戸の梅産地づくりの推進
- ・水戸の梅「ふくゆい」, 「水戸の柔甘^{やわらか}ねぎ」等の PR 強化, マッチングの推進による販路拡大
- ・畜産業の振興
- ・果樹農業の振興
- ・付加価値向上の推進
- ・農産物のブランド力の強化

◇地産地消の推進

《事業主体》市, 事業者

事業概要

- ・水戸^{みとうま}美味登録店の拡大
- ・学校給食における地場農産物の積極的な活用

◇優良農地の維持・保全

《事業主体》市, 事業者

事業概要

- ・農業振興地域における農用地の適正管理
- ・不作付地の利用促進

◇有害鳥獣等による農作物の被害防止対策の推進

《事業主体》市，関係団体

事業概要

- ・捕獲の支援
- ・電気防護柵設置の支援

3 環境に配慮した農業，農村環境づくりを進めます

◇環境にやさしい農業の推進

《事業主体》市，事業者

事業概要

- ・環境保全型農業の推進
- ・有機農業の推進
- ・耕畜連携の推進

◇農村環境の保全管理・コミュニティ活性化の支援

《事業主体》市，事業者，関係団体

事業概要

- ・農業，農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る地域共同活動の支援

【関連個別計画】

- ・農業基本計画

2-2 水戸らしさを生かしたにぎわいの創出

2-2-1 まちなかの活性化

市民，事業者，みんなで実現するまちの姿

集積する都市機能や資源を生かしたにぎわいあるまちなか

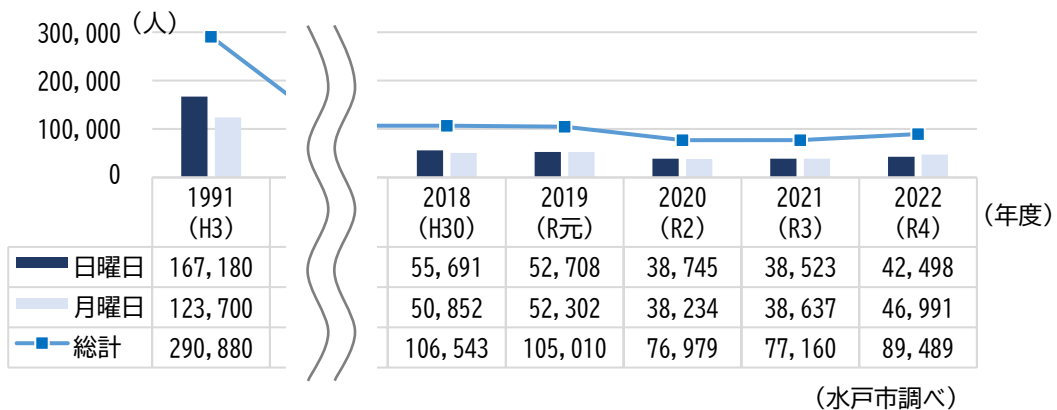
【取り組むべき課題】

本市のまちなかにおける歩行者通行量は、1991（平成3）年度には29万1千人とにぎわいを見せていましたが、大型店の相次ぐ撤退や郊外型の大型店舗の立地に加え、インターネットを使った通信販売の拡大などにより、2019（令和元）年度は10万5千人となり、さらに、新型コロナウイルス感染症の影響によって、2020（令和2）年度には7万7千人にまで減少しました（図2-3）。

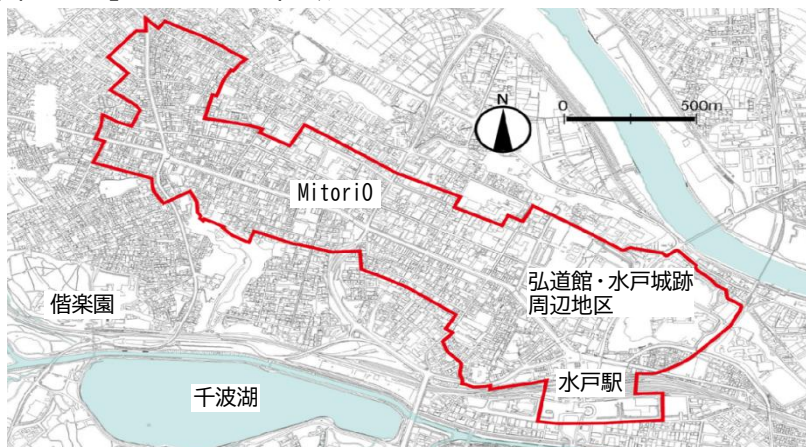
都市の発展をリードするまちなかのにぎわいの低迷は、商業をはじめ、業務、行政、教育、医療、居住機能など、集積する様々な都市機能の低下を招き、まち全体の停滞につながるものが懸念されます。

そのため、Mitori0や弘道館・水戸城跡周辺地区等の拠点を核とした交流の創出と拠点間の回遊性の向上を図るとともに、市民、事業者、まちづくり団体等が活動しやすい環境づくりを進めることで、まちなかの求心力を高め、地域経済の活性化につながる更なるにぎわいづくりを推進していく必要があります。

〔図2-3〕 まちなかにおける歩行者通行量の推移



〔図2-4〕 まちなかの区域



（資料：水戸市）



【目標水準】

指標	現況 (令和4年度末)	前期目標 (令和10年度末)	期間目標 (令和15年度末)
まちなか交流人口(年間)	180,454人 (令和3年度) ※371,979人	100万人	110万人
まちなか居住人口	7,029人	8,250人	9,000人
まちなかにおける事業所の 新規開業数(年間)	13所	13所	13所

※の数値は参考値(令和元年度)

【主要事業(5か年)】

1 まちなかに人を呼び込み、経済循環を創出します

◇Mitori0を中心とした

新たなにぎわいづくり

2-2-3 4-1-5

事業概要

- ・水戸市民会館の運営充実
- ・水戸芸術館の運営充実
- ・水戸芸術館と水戸市民会館の連携による
芸術文化の創造・発信

《事業主体》市、関係機関、事業者

- ・3施設合同でのイベント開催
- ・周辺の商店街等と連携したにぎわいづくり

◇水戸市民会館におけるコンベンション誘致

2-2-2

事業概要

- ・著名アーティストの公演、大規模イベントの誘致
- ・学会等の大規模コンベンションの誘致

《事業主体》市、関係機関

◇弘道館・水戸城跡周辺の更なる魅力づくり

2-2-2 2-2-3

事業概要

- ・民官連携による年間を通したにぎわいづくり
- ・朝型・夜型イベントの充実
- ・水戸ならではの歴史的景観の形成促進

《事業主体》市、市民、事業者等

◇民官連携によるまちなかのにぎわいづくり 《事業主体》市，市民，事業者

事業概要

- ・水戸まちなかフェスティバルのリニューアル開催
- ・まちなか・スポーツ・にぎわい広場を活用したイベントの開催，支援

◇交流拠点と連携した回遊性の強化 《事業主体》市，事業者

事業概要

- ・偕楽園，千波湖，アダストリアみとアリーナ等と連携した回遊性を高める仕掛けづくりの推進

2 まちなかでの多様な活動を支援します

◇中心市街地活性化協議会，民間まちづくり 《事業主体》市，事業者
団体と連携した事業の推進

事業概要

- ・中心市街地活性化協議会，民間まちづくり団体が実施する活性化事業の支援
- ・空き店舗ツアーの充実

◇まちづくりの新たなプレイヤーの発掘・支援 《事業主体》市，事業者

事業概要

- ・まちづくり活動に主体的に取り組む若いプレイヤーの活動支援

◇中心市街地商店街活性化の支援 《事業主体》市，事業者

事業概要

- ・商店街団体のデジタル技術を活用した販売促進事業・イベント等の支援

◇利便性の高いまちなかづくり 2-3-1 《事業主体》市，市民，事業者 等

事業概要

- ・まちなかエリアマネジメントの推進
- ・歩きたくなるまちづくりの推進

◇店舗・事務所等の開設支援 ≪事業主体≫市, 事業者

- 事業概要
- ・空き店舗等を活用した新規開設に対する支援

3 暮らしやすいまちなかを形成します

◇まちなかにおける子育て環境の充実 ≪事業主体≫市

- 事業概要
- ・子育て世帯のまちなかへの住みかえ促進
 - ・わんぱーく・みとの運営充実
 - ・市民センター子育て広場等の運営充実

■都市核の機能強化 2-3-1 ≪事業主体≫市, 事業者

- 事業概要
- ・水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業
 - ・水戸駅北口駅前広場の整備
 - ・優良建築物等整備事業
 - ・道路整備の推進
 - （泉町1丁目広小路地区, 南町3丁目北地区）
 - ・五軒町地下駐車場の長寿命化改修

◇公共交通機関の利用促進 2-3-2 ≪事業主体≫市, 事業者

- 事業概要
- ・路線バスの乗り方教室の開催
 - ・バスマップの作成・配布
 - ・MaaSの活用による利用促進

◇シェアサイクル事業の充実 2-3-2 ≪事業主体≫市

- 事業概要
- ・自転車の配置の拡大, サイクルポートの増設

【関連個別計画】

- ・中心市街地活性化基本計画
- ・自転車活用推進計画

2-2 水戸らしさを生かしたにぎわいの創出

2-2-2 多くの人を訪れたいまちづくり

市民，事業者，みんなで実現するまちの姿

水戸ならではの魅力を感じられ観光客に選ばれるまち

【取り組むべき課題】

茨城県の調査によると、本県における観光客一人当たりの観光消費額は、宿泊旅行が29,372円であり、宿泊旅行は日帰り旅行の5,244円と比較すると、およそ6倍の観光消費をもたらしています（表2-6）。

本市における宿泊者数は、国が中心となった訪日プロモーション等の政策効果もあいまって、2019（令和元）年には61万9千人となり、増加傾向にありましたが、2020（令和2）年は、新型コロナウイルス感染症の影響によって40万4千人と大幅に減少しました。その後は、回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準までには至っていない状況にあります（図2-5）。

そのため、水戸ならではの観光資源の魅力を更に磨き上げ、効果的に発信していくとともに、日帰り旅行はもちろん、インバウンド観光やコンベンション等の誘致を積極的に行うなど、経済効果の高い宿泊者数の増加や滞在時間の延長につながる取組を進めていく必要があります。

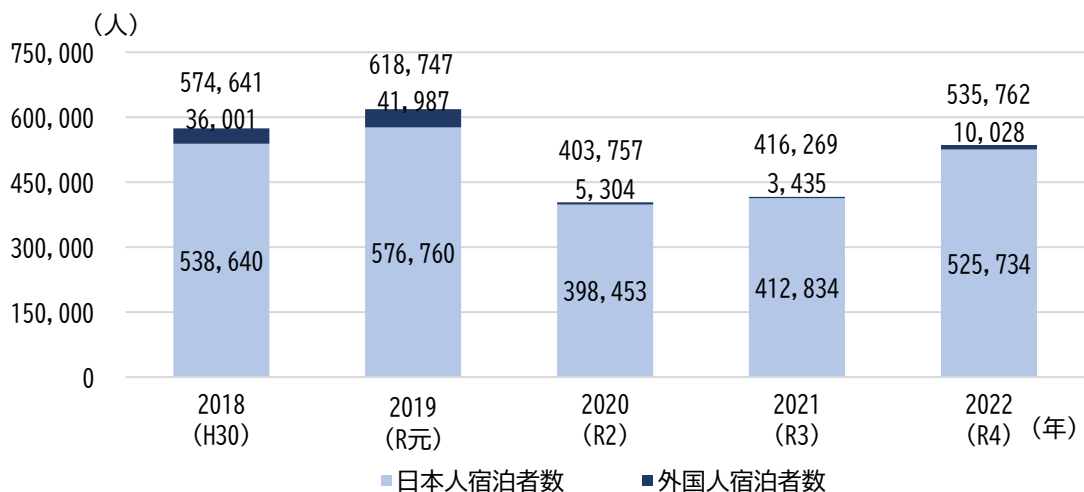
〔表2-6〕 宿泊・日帰り別の一人当たりの観光消費額（令和4年）

（単位：円/人）

区分	全体	宿泊	日帰り
茨城県	8,251	29,372	5,244

（出典：観光客動態調査，茨城県）

〔図2-5〕 宿泊者数の推移



（出典：宿泊旅行統計調査，観光庁）



【目標水準】

指標	現況 (令和4年度末)	前期目標 (令和10年度末)	期間目標 (令和15年度末)
宿泊者数(年間)	535,762人 (令和4年) ※618,747人	56万人 (令和10年)	66万人 (令和15年)
外国人宿泊者数(年間)	10,028人 (令和4年) ※41,987人	37,000人 (令和10年)	57,000人 (令和15年)
観光消費額(年間)	136億円 (令和4年) ※159億円	200億円 (令和10年)	270億円 (令和15年)

※の数値は参考値(令和元年)

【主要事業(5か年)】

1 多くの人が訪れたい魅力づくりを進めます

◇データを活用した観光施策の充実 《事業主体》市

事業概要

- ・人流データ等の解析による効果的な観光施策の立案

◇偕楽園・千波湖周辺の更なる魅力づくり 《事業主体》市, 市民, 事業者 等

2-2-3

事業概要

- ・民間活力を活用した魅力的な空間演出
- ・新たなアクティビティの提供
- ・梅まつりをはじめ年間を通じた民官連携イベントの充実
- ・水戸ならではの景観の形成(偕楽園・千波湖周辺地区)
- ・朝型・夜型イベントの充実

◇天下の魁・水戸にふさわしい 《事業主体》市, 市民

歴史まちづくり

2-2-3

事業概要

- ・世界遺産登録に向けた取組
- ・日本遺産を生かしたブランド力の向上
- ・歴史的建造物を活用した魅力づくり

◇弘道館・水戸城跡周辺の更なる魅力づくり <<事業主体>>市, 市民, 事業者 等

2-2-1 2-2-3

事業概要

- ・民官連携による年間を通したにぎわいづくり
- ・朝型・夜型イベントの充実
- ・水戸ならではの歴史的景観の形成促進

◇ターゲットを明確にした
戦略的なイベント等の展開 <<事業主体>>市, 関係機関, 事業者

事業概要

- ・バラエティに富んだイベントの開催
- ・若い世代を呼び込めるイベントの開催
- ・各種まつりの充実

◇観光客にやさしい受入体制の充実 <<事業主体>>市, 市民, 関係団体 等

事業概要

- ・民間活力の活用による観光ボランティアの強化
- ・優良タクシー乗務員認定事業の推進
- ・観光案内所の機能強化

2 水戸の魅力を生かした取組により、稼ぐ力を強化します

◇インバウンド観光の推進 <<事業主体>>市, 関係機関, 事業者

事業概要

- ・SNS等の活用によるターゲットを絞った戦略的プロモーションの展開
- ・多言語対応の強化による受入体制の充実

◇宿泊型・滞在型観光の推進 <<事業主体>>市, 事業者

事業概要

- ・ナイトツーリズムの推進
- ・観光施設間の回遊性の強化

◇体験・交流型観光の充実 <<事業主体>>市, 事業者

事業概要

- ・体験プログラムの高付加価値化

事業概要	<p>◇観光特産品の魅力向上による 観光消費の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土産品セレクションの創設等による観光土産品の魅力向上 ・物産展等の開催 	<p>≪事業主体≫市，関係機関，事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者との連携による新たな観光特産品の開発
事業概要	<p>◇広域連携による魅力ある観光圏の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊観光の推進 ・茨城空港，茨城港を玄関口とした誘客促進 ・都市間ネットワークを活用した魅力の発信 	<p>≪事業主体≫市，構成市町村，事業者等</p>
事業概要	<p>◇コンベンション等の誘致推進と開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンベンションをはじめ MICE 誘致の推進 ・コンベンション開催支援の充実 ・水戸ならではのアフターコンベンションの支援 	<p>≪事業主体≫市，関係機関</p>
事業概要	<p>◇水戸市民会館におけるコンベンション誘致</p> <p style="text-align: center;">2-2-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著名アーティストの公演，大規模イベントの誘致 ・学会等の大規模コンベンションの誘致 	<p>≪事業主体≫市，関係機関</p>
事業概要	<p>◇大規模スポーツ大会やプロスポーツ等の 大会の開催・誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国・国際規模の大会等の開催・誘致 ・スポーツコンベンションの誘致に向けた環境整備 	<p>≪事業主体≫市，関係機関</p>
事業概要	<p>◇ガーデンツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植物公園を中心とした回遊型観光の推進 ・いばらきガーデン&オーチャードツーリズムと連携した取組の推進 	<p>≪事業主体≫市</p>

3 水戸の魅力の発信力を強化します

◇水戸ならではの資源を活用した 戦略的観光PR

「事業主体」市

事業概要

- ・歴史的資源, 花火, 納豆や水府提灯等の特産品を活用したブランディング
- ・様々な手法を用いた効果的な情報発信

◇時代の変化に対応した シティプロモーションの推進

「事業主体」市

事業概要

- ・SNS, 動画配信サービスを活用した情報発信
- ・イベント情報集約サイトの運営
- ・水戸の魅力を発信する特設サイトの開設

◇みとアンバサダー等による魅力の発信

「事業主体」市, 市民

事業概要

- ・みとアンバサダーの認定
- ・みとアンバサダーによる国内外への情報発信
- ・みとの魅力宣伝部長等によるイベントの誘致

◇フィルムコミッションの充実

「事業主体」市

事業概要

- ・ニーズに対応した撮影支援
- ・ロケ地ツアーの誘致

【関連個別計画】

- ・観光基本計画



2-2 水戸らしさを生かしたにぎわいの創出

2-2-3 水戸のまちを楽しめる交流拠点づくり

市民，事業者，みんなで実現するまちの姿

交流拠点の形成，文化の発信により子どもや若い世代をはじめ誰もが楽しめるまち

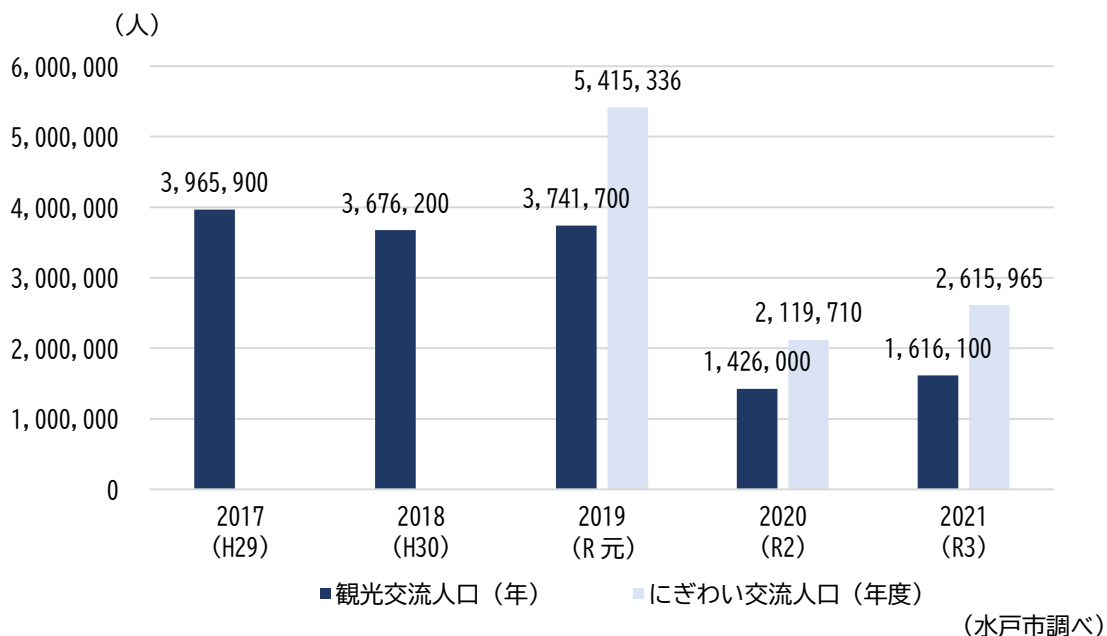
【取り組むべき課題】

将来にわたって都市の活力を維持し，発展させていくためには，多くの人が集い，様々なにぎわいや交流を創出し，地域経済を活性化させていくことが重要です。

にぎわいや交流の指標となる交流人口については，水戸市第6次総合計画に定める観光交流人口が2017（平成29）年に約397万人となり，高い水準で推移していましたが，2020（令和2）年は，新型コロナウイルス感染症の影響によって約143万人と大幅に減少しました。（図2-6）。

交流人口の回復に向けては，偕楽園や千波湖，弘道館・水戸城跡周辺地区，Mitori0，プロスポーツチームといった水戸ならではの自然や歴史，文化，スポーツなどの様々な地域資源の特性を生かしながら，魅力を高めていくことが必要です。あわせて，訪れる人にとっての重要な要素となる納豆やまつり，水府提灯といった水戸の誇る食文化や伝統文化を効果的に発信していく必要があります。

〔図2-6〕 交流人口の推移



注1 観光交流人口は，第6次総合計画において，年間入込観光客数を設定

注2 にぎわい交流人口は，第7次総合計画において，魅力発信交流拠点やイベントの来場者数を基本とし，地域経済の活性化を目指す指標として新たに設定



【目標水準】

指標	現況 (令和4年度末)	前期目標 (令和10年度末)	期間目標 (令和15年度末)
にぎわい交流人口(年間)	2,615,965人 (令和3年度) ※5,415,336人	600万人	650万人

※の数値は参考値(令和元年度)

【主要事業(5か年)】

- 1 水戸ならではの楽しめる交流拠点づくりを進めます

【自然】

◇偕楽園・千波湖周辺の更なる魅力づくり

《事業主体》市, 市民, 事業者 等

2-2-2

事業概要

- ・民間活力を活用した魅力的な空間演出
- ・新たなアクティビティの提供
- ・梅まつりをはじめ年間を通した民官連携イベントの充実
- ・水戸ならではの景観の形成(偕楽園・千波湖周辺地区)
- ・朝型・夜型イベントの充実

■偕楽園公園(千波湖等)の整備

3-4-4

《事業主体》市

事業概要

- ・園路, 広場等の整備

◇民間活力等を活用した楽しめる公園づくり

《事業主体》市, 市民, 事業者 等

3-4-4

事業概要

- ・若い世代による魅力発信の強化, 新たな魅力づくり
- ・市民, 事業者と連携した楽しめる公園づくり

◇パークPFIを活用した魅力的な公園づくり

《事業主体》市, 事業者

3-4-4

事業概要

- ・大規模公園における民官連携によるにぎわいづくり

事業概要

■公園リノベーションの推進

3-4-4

≪事業主体≫市

- ・既存施設のリノベーション(大塚池公園, 七ツ洞公園, 保和苑)

事業概要

◇ロマンチックゾーンの更なる魅力づくり

3-4-4

≪事業主体≫市, 市民, 事業者 等

- ・あじさいまつりの充実
- ・近隣学校等と連携した若い世代を呼び込む取組の推進

事業概要

■植物公園の再整備

3-4-4

≪事業主体≫市

- ・植物公園の第2期リニューアル完了

事業概要

◇植物公園の更なる魅力づくり

3-4-4

≪事業主体≫市

- ・温室等を生かした魅せる展示の推進
- ・水戸藩にまつわる薬草を活用した魅力づくり
- ・体験教室やこどもたちの体験学習の充実

事業概要

■森林公園の再整備

3-4-4

≪事業主体≫市

- ・新たな森林公園再整備プログラムの策定
- ・公園施設の一体的な整備

事業概要

◇森林公園周辺における体験プログラムの充実

3-4-4

≪事業主体≫市, 市民, 事業者 等

- ・果物収穫, 野菜作り等の農業体験の実施
- ・植樹祭等の森林環境教育の実施
- ・トレイルランニング等の自然環境を生かしたイベントの実施

【歴史・文化】

◇天下の魁・水戸にふさわしい

≪事業主体≫市，市民

歴史まちづくり

2-2-2

事業概要

- ・世界遺産登録に向けた取組
- ・日本遺産を生かしたブランド力の向上
- ・歴史的建造物を活用した魅力づくり

◇弘道館・水戸城跡周辺の更なる魅力づくり

≪事業主体≫市，市民，事業者 等

2-2-1 2-2-2

事業概要

- ・民官連携による年間を通したにぎわいづくり
- ・朝型・夜型イベントの充実
- ・水戸ならではの歴史的景観の形成促進

◇Mitori0 を中心とした

≪事業主体≫市，関係機関，事業者

新たなにぎわいづくり

2-2-1 4-1-5

事業概要

- ・水戸市民会館の運営充実
- ・水戸芸術館の運営充実
- ・水戸芸術館と水戸市民会館の連携による芸術文化の創造・発信
- ・3施設合同でのイベント開催
- ・周辺の商店街等と連携したにぎわいづくり

◇博物館等の魅力づくり

≪事業主体≫市

4-1-6

事業概要

- ・特色ある展示の充実
- ・デジタルアーカイブの構築
- ・埋蔵文化財センター(大串貝塚ふれあい公園)での体験教室の充実

【スポーツ・健康】

◇スポーツ文化の振興に向けた取組の推進

≪事業主体≫市，関係機関，関係団体

4-1-6

事業概要

- ・スポーツ・健康フェスティバルの開催
- ・事業者との連携によるスポーツ交流事業の開催

◇プロスポーツチームを通じた地域の活性化

≪事業主体≫市，関係団体，事業者

4-1-6

事業概要

- ・プロスポーツチームによるスポーツ教室の実施
- ・MITO BLUE PRIDE の実施
- ・いばらき県央地域スポーツフェスティバルの開催

◇水戸黄門漫遊マラソンの開催 4-1-6 <事業主体>市

事業概要
・日本陸上競技連盟公認フルマラソン大会の開催

■（仮称）東部公園の整備 4-1-6 <事業主体>市

事業概要
・サッカー場の供用開始 2面

2 楽しみ訪れたくなる魅力や文化を発信します

◇交流拠点の魅力発信 <事業主体>市, 市民, 事業者

事業概要
・水戸ならではの自然, 歴史・文化, スポーツ・健康拠点の魅力発信

◇水戸の誇る食文化の発信 2-2-2 ほか <事業主体>市, 市民, 事業者

事業概要
・納豆, 梅, チーズ, うなぎ等の水戸の誇る食文化の発信

◇水戸の誇る伝統文化の発信 2-2-2 ほか <事業主体>市, 市民, 事業者

事業概要
・まつり, 花火, 水府提灯等の水戸の誇る伝統文化の発信

【関連個別計画】

- ・緑の基本計画
- ・歴史的風致維持向上計画
- ・芸術文化振興ビジョン（～令和7年度）
- ・芸術文化振興基本計画（令和8年度～）
- ・文化財保存活用地域計画
- ・スポーツ推進計画



2-3 都市の活力とにぎわいを支える基盤の強化

2-3-1 水戸らしいコンパクトな都市構造の構築

市民，事業者，みんなで実現するまちの姿

都市核，地域拠点が連携する利便性の高い都市環境の構築

【取り組むべき課題】

本市においては、持続可能なコンパクトな都市構造の構築を目指し、都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、まちなかや鉄道駅周辺等を都市機能誘導区域として位置付け、医療、福祉、子育て、商業、業務、文化等の都市活動を支える様々な機能の誘導を図ってきました（表2-7）。

人口減少や高齢化が進行する中、都市核をはじめ、地域生活拠点や地域産業系拠点、魅力発信交流拠点の各拠点においては、それぞれの特性に合わせた都市機能の強化・充実とともに、拠点やその周辺地域等へ居住の誘導を図っていく必要があります。そして、都市核と各拠点の求心力を高めながら、道路や公共交通ネットワーク、更にはデジタルネットワーク等により、機能連携や利便性向上を図るなど、社会の変化に対応できる持続可能な都市構造としていく必要があります。

〔表2-7〕 都市機能誘導区域内の施設の配置状況

(2023 (R5) 年8月現在)

機能	都市機能誘導区域内施設数の変遷		
	2017(H29) (施設)	2023(R5) (施設)	増減 (施設)
医療	5	5	—
文化（交流施設，博物館，図書館等）	5	6	+1
教育（大学，短期大学，専修学校等）	7	7	—
子育て支援（幼稚園，保育所等）	11	19	+8
高齢福祉（通所施設）	9	8	-1
商業（大規模小売店舗，食品スーパー等）	28	29	+1
金融（銀行，信用金庫等）	36	32	-4

(水戸市調べ)



【目標水準】

指標	現況 (令和4年度末)	前期目標 (令和10年度末)	期間目標 (令和15年度末)
都市核の人口集積率	6.4%	7.0%	7.5%
身近な生活環境について利便性が高いと感じている市民の割合	赤塚駅周辺 42.5% 内原駅周辺 34.4% 下市地区 35.2%	50%	60%
都市計画道路(市施行分)の整備率	55.1%	58%	60%

【主要事業（5か年）】

1 都市核・拠点の機能強化を図ります

◇都市核の機能充実

《事業主体》市，市民，事業者 等

事業概要

- ・都市中枢機能の集積
- ・企業，事業所等の立地促進
- ・低・未利用地の高度利用の促進

- ・防災性，景観の向上
- ・新たな再開発事業等の検討

◇利便性の高いまちなかづくり

2-2-1

《事業主体》市，市民，事業者 等

事業概要

- ・まちなかエリアマネジメントの推進
- ・歩きたくなるまちづくりの推進

■都市核の機能強化

2-2-1

《事業主体》市，事業者

事業概要

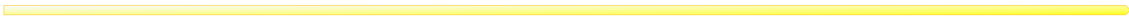
- ・水戸駅前三の丸地区第一種市街地再開発事業
- ・優良建築物等整備事業(泉町1丁目広小路地区，南町3丁目北地区)
- ・水戸駅北口駅前広場の整備
- ・道路整備の推進
- ・五軒町地下駐車場の長寿命化改修

◇地域生活拠点の機能充実

《事業主体》市

事業概要

- ・赤塚駅周辺，内原駅周辺，下市地区の地域生活拠点における暮らしやすい環境づくり



◇鉄道駅周辺の機能充実 ≪事業主体≫市

事業概要

- ・水戸駅周辺, 赤塚駅周辺, 内原駅周辺の整備
- ・偕楽園駅の常設化の検討

■赤塚駅周辺の機能強化 ≪事業主体≫市

事業概要

- ・赤塚駅自由通路の長寿命化改修の検討
- ・赤塚駅北口駐車場の長寿命化改修

■内原駅周辺の機能強化 ≪事業主体≫市

事業概要

- ・内原駅南口広場の整備

◇地域産業系拠点の機能強化・集積促進 ≪事業主体≫市, 事業者

2-1-2

事業概要

- ・企業の集積の促進
- ・新たな産業用地の確保

2 快適な都市空間づくりを進めます

◇バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進 ≪事業主体≫市, 市民, 事業者

3-2-1

事業概要

- ・バリアフリーマップ作成アプリの活用促進
- ・合理的配慮の提供に対する支援

◇利用しやすいバス路線の構築 ≪事業主体≫市, 事業者

2-3-2

事業概要

- ・バス路線の再編
- ・学官連携による路線バスネットワークの検討

◇まちのデジタル化の推進

4-2-5

≪事業主体≫市, 事業者, 関係団体

事業概要

- ・事業者等との連携によるデジタル技術を活用した地域課題の解決
- ・産業分野に応じた DX セミナーの開催

◇国・県道の整備促進

≪事業主体≫市, 関係機関

事業概要

- ・国・県道の早期整備の促進
- ・東関東自動車道水戸線の早期整備の促進

◇効率的・効果的な道路整備の推進

≪事業主体≫市

事業概要

- ・都市基盤等の変化を踏まえた都市計画道路網再編の検討

■都市計画道路の整備

≪事業主体≫市

事業概要

- ・都市計画道路中大野中河内線等の整備 3路線6工区

【期間内完了】

- 都市計画道路 3・3・2 号 中大野中河内線(大野工区) ※市事業(用地取得)の完了
- 都市計画道路 3・4・5 号 偕楽園公園上水戸線(2工区)

【期間外継続】

- 都市計画道路 3・3・2 号 中大野中河内線(松が丘工区)
- 都市計画道路 3・3・2 号 中大野中河内線(見川東工区)
- 都市計画道路 3・3・2 号 中大野中河内線(谷田工区)
- 都市計画道路 3・3・30 号 赤塚駅水府橋線(堀2工区)

◇市街化区域の宅地開発の適正な誘導

≪事業主体≫市, 事業者

事業概要

- ・市街化区域の土地利用, 宅地開発の適正な誘導
- ・市街化調整区域における適正な立地規制

【関連個別計画】

- ・都市計画マスタープラン
- ・立地適正化計画
- ・バリアフリー基本構想
- ・景観計画

2-3 都市の活力とにぎわいを支える基盤の強化

2-3-2 公共交通・自転車に乗りたくなるまちづくり

市民，事業者，みんなで実現するまちの姿

安心して移動，外出できる環境の構築

【取り組むべき課題】

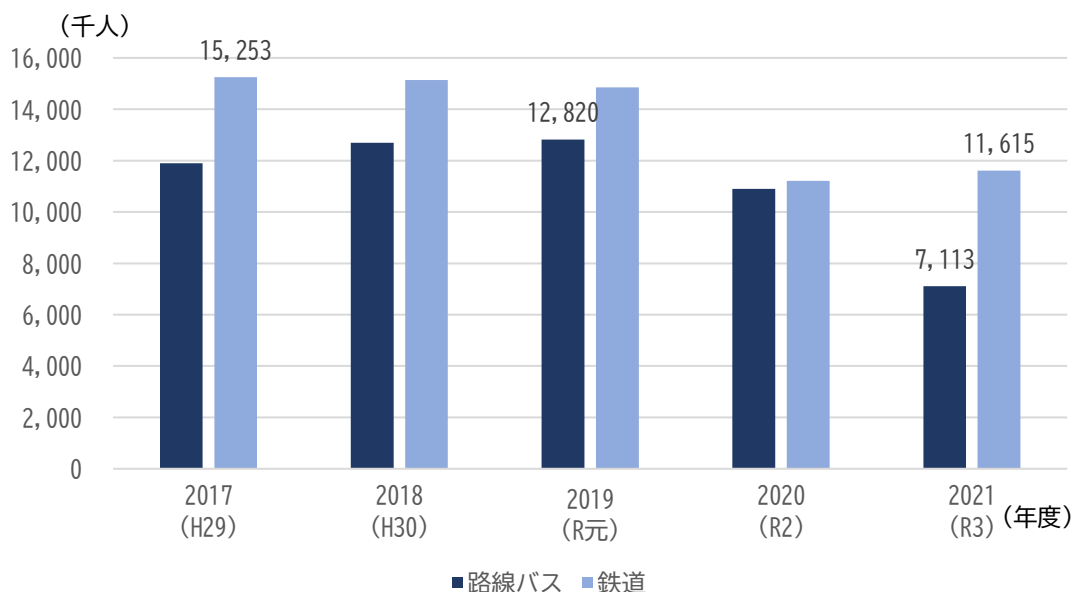
本市における公共交通機関の利用者数は、路線バスについては、微増傾向、鉄道については、横ばいとなっていました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2020（令和2）年度から大きく減少しています（図2-7）。

路線バス利用者数は、2021（令和3）年度には、過去10年間で最も多かった2019（令和元）年度と比較して、500万人以上減少（44.5パーセント減少）するとともに、鉄道利用者についても、過去10年間で最も多かった2017（平成29）年度と比較して、300万人以上減少（23.9パーセント減少）しており、その後も、生活行動様式の変容も相まって、回復するまでに至っていない状況です。

公共交通の衰退は、高齢者をはじめとした市民が外出する機会の減少や日常生活における移動手段の喪失をもたらします。また、自動車利用の増加により、交通渋滞や温室効果ガスの発生を招くことにもなります。

そのため、利用しやすいバス路線の構築や、デジタル技術の活用によって、公共交通機関の利便性を向上し、利用者数を増やしていく必要があります。あわせて、公共交通を補完する自転車についても、利用促進に向けて、安全で快適な利用環境を形成することが求められています。

【図2-7】公共交通機関の利用者数の推移



(水戸市調べ)



【目標水準】

指標	現況 (令和4年度末)	前期目標 (令和10年度末)	期間目標 (令和15年度末)
市内を運行する路線バスの利用者数(1日当たり)	19,489人 (令和3年度)	22,000人	24,000人
公共交通機関が充実していると感じる市民の割合	32.3%	36%	40%
シェアサイクル利用数(年間)	—	9,600回	12,500回
自転車事故発生件数(年間)	128件	60件	ゼロ

【主要事業（5か年）】

1 利用しやすい公共交通を実現します

◇公共交通機関の利用促進

2-2-1

≪事業主体≫市, 事業者

事業概要

- ・路線バスの乗り方教室の開催
- ・バスマップの作成・配布
- ・MaaSの活用による利用促進

◇利用しやすいバス路線の構築

2-3-1

≪事業主体≫市, 事業者

事業概要

- ・バス路線の再編
- ・学官連携による路線バスネットワークの検討

◇公共交通におけるデジタル技術の活用に向けた取組の推進

≪事業主体≫市, 事業者

事業概要

- ・キャッシュレス決済の導入支援
- ・MaaSの更なる活用に向けた調査・研究
- ・新たなデジタル技術の活用に向けた調査・研究

◇公共交通を活用したゼロカーボンの推進

≪事業主体≫市, 市民, 事業者

事業概要

- ・エコ通勤チャレンジウィークの充実

■公共交通におけるゼロカーボンの推進

《事業主体》市，事業者

4-2-1

事業概要

- ・EVバス，タクシーの導入支援

◇公共交通空白地区等における移動支援

《事業主体》市

事業概要

- ・水都すいとうタクシーの運行の継続

◇広域公共交通ネットワークの充実

《事業主体》市，構成市町村，事業者

事業概要

- ・広域路線バスの維持・確保
- ・大洗鹿島線の設備等の整備に対する支援
- ・鉄道・空港の利用促進に向けた情報の提供

■バス・タクシーのバリアフリー化の促進

《事業主体》市，事業者

事業概要

- ・ノンステップバス，ユニバーサルデザインタクシーの導入支援

2 自転車に乗ってみたいくなる環境を創出します

◇自転車利用者への安全教育の充実

3-4-1

《事業主体》市

事業概要

- ・児童向け自転車教室，サイクリング校外学習の実施
- ・市民との連携による通行指導の体制強化

◇ジテツウの促進

《事業主体》市，事業者

事業概要

- ・事業者との連携による自転車通勤の推進

◇シェアサイクル事業の充実 2-2-1 <<事業主体>>市
事業概要
・自転車の配置の拡大, サイクルポートの増設

◇サイクルイベントの開催 <<事業主体>>市
事業概要
・自転車利用促進イベントの実施
・イベント等の開催に対する補助

■安全で快適な自転車利用環境の形成 3-4-3 <<事業主体>>市
事業概要
・自転車通行空間の整備

【関連個別計画】

- ・ 地域公共交通基本計画
- ・ 自転車活用推進計画

